

京丹波町社協 地域通信

令和3年 8月 発行

発行 京丹波町社会福祉協議会
〒622-0213
京丹波町須知鍋倉1番地1
電話 0771-82-0126
Fax 0771-82-2206



第2号



7月全戸配布のパンフレットです

京丹波町内のサロン活動者・参加者に、コロナ禍でもできることのヒントになればとの思いから『コロナ禍におけるアンケート』を実施しました。

アンケートを実施をした結果、集まることや人と話すことなど、これまでの「つながり」や「ふれあい」が制限された中で、サロン活動者や参加者のみなさんがどのような思いで日々過ごしておられるのかを聞くことができました。コロナ禍で何を求めておられるかを知ること、そしてそれぞれの思いを発信することで『つながり続けることの意義』を再確認できました。

京丹波町社会福祉協議会では、地域で行われている福祉活動を“地域の宝物”として、各地の宝物を探していきます。アンケート結果から見てきたことをパンフレットにまとめ全戸配布（7月使送済）をすることで、コロナ禍においても助け合いが一つでも多く広がることを期待しています。



ふれあい・いきいきサロンとは、地域の福祉拠点。暮らしの中にある見守り・支え合いの中で、楽しくいきいきと暮らせる地域活動の場です。

- ・丹波地区28サロン
 - ・瑞穂地区27サロン
 - ・和知地区8サロン
- 合計 63サロン（令和3年4月）

食料支援プロジェクト

（主催：口丹波食料支援プロジェクト実行員会きょうたんば）

7月25日に瑞穂地区「森のふれあい広場」で食料支援プロジェクトが行われました。「社協でも必要とされている方にお届けください」と多くの食料と日用品をご提供いただきました。その多くを必要とされている方にお届けしましたが、まだ少し残っています。コロナ禍等において、生活費や食費を切り詰めておられる方々に無料提供いたしますのでご連絡ください。電話82-0126 地域福祉課まで



支え合い・助け合い活動

令和2年に京丹波町カーシェアリング研修会があり、竹野活性化委員会で検討が始まりました。

竹野活性化委員会で検討後、カーシェアリング検討委員会を経て、カーシェアリング部会を設立。



検討委員会での意見には、
・「住民アンケート結果には交通の課題を挙げている人が多い、将来の為に必要な取り組みではないか」
・「老後の交通へ不安の声が多い。地域で取り組むことは大切ではないか」といった意見がありました。

カーシェアリング部会のみなさんは、「一人でも困っている人がいれば、支援したいです。地域で支援、解決出来る事はしていきたいと思います。交通に不便さを感じている方もいます。また自分たちが車に乗れなくなった時のことも考えて、今から仕組み作りを始めていければと思っています」。



竹野活性化委員会では、「地域で支え合う。おきざりにしない地域」を目指し、カーシェアリングの運行が始まりました。

NPO 法人や社協が町の委託を受けて実施している外出支援サービス（病院等送迎）は、回数や目的などの面で利用に制約があります。

竹野地区で始まったカーシェアリングでは、利用する人も、運転等を担う人もお互いさまの気持ちで運行し、活発な意見交換をして利用のルールなどを自分たちで決めています。

友達の家遊びに行くもよし！ 買い物に行くもよし！ 生活が豊かになりますね。

竹野地区（令和3年6月末時点）
331世帯 784人
65歳以上 323人 高齢化率41%



コミュニティ・
カーシェアリングって??

地域の支え合い活動として、病院や買い物への送迎など、住民同士の外出をサポートする活動です。

運転手はボランティアが担い、地域に合った利用ルールを決め、出来る人が出来る範囲で活動し、一台の車を共有して運用する活動です。

令和3年2月
に行われた
住民説明会の
様子です

